

【基本方針】

ふるさとらしいサービスの提供とは常にサービスを提供される側の立場や気持ちを考えたサービスを提供することである

【年間目標】

- ① 継続した感染予防への取り組みを行う
- ② 地域との連携
- ③ ケアマネジメント力向上
- ④ 働きがいのある職場作り
- ⑤ 特定事業所加算Ⅱの維持

【実践報告】

- ① 継続した感染予防への取り組みを行う。
 - ・毎日の検温、常時のマスク着用、事業所内の換気及び加湿の実施、こまめな手洗い、手指消毒、うがいの実施を行い、日々の業務に取り組んだ
 - ・職員だけではなく、職員家族にも発熱等体調不良があった際には、原因が分かるまで自宅待機を指示し、感染拡大を未然に防ぐべく取り組んだ
- ② 地域との連携
 - ・ご利用者・ご利用者家族が住み慣れた自宅で生活を継続できるよう、地域包括支援センター・病院・クリニック・介護保険サービス提供事業所等と連携を図り必要な支援を調整できるよう取り組んだ
 - ・自宅での生活継続が難しい場合には、本人・家族の思いを汲んで、入院や施設入所等、支援を調整した。
 - ・虐待・困難事例ケースにおいては、地域包括支援センター、主治医や関係者とも連携を図り、情報共有・課題解決に向けた取り組みを行った
- ③ ケアマネジメント力向上
 - ・主治医、介護保険サービス、行政サービス等必要な機関と積極的に連携を図り支援を検討調整できた
- ④ 働きがいのある職場作り
 - ・事業所内で週一回定例会議を実施し、困難事例含め支援方法や課題を職員同士相談できる環境を整え、互いに意見を出し合う事で一人悩まず事業所全体で考え職員一人ひとりの負担を軽減でき、信頼関係向上に繋げる事ができた
- ⑤ 特定事業所加算Ⅱの維持
 - ・週一回は事業所内で定例会議を実施し、利用者の情報共有、困難事例の対応や課題の共有に努め事業所全体で利用者を支援できるように努めた
 - ・24時間の連絡体制の確保を行い、営業時間外は事業所携帯電話を常時保持し、ご利用者からの相談や連絡に対応した
 - ・事業所内での勉強会については居宅介護支援事業所ふるさとと合同で年2回実施した

5月	11月
介護支援専門員としての倫理 多職種連携について	自己覚知について

【苦情件数】

苦情件数：1件

<苦情内容>

- ・ご家族の要望を的確に事業所に伝えることができず、担当の変更依頼となった。

<改善内容>

- ・ご利用者やご家族の意向を的確にアセスメントを行い、確実に依頼された内容を伝えることができるように丁寧に対処していく。

利用者数実績報告

	作成件数	居宅サービス（内訳）							
		介護予防（類型）			要介護（区分）				
		簡易型	従来型	介護予防	1	2	3	4	5
4月	145	6	7	34	42	27	16	9	4
5月	157	8	9	35	47	27	19	8	4
6月	153	9	9	30	47	27	16	10	5
7月	160	7	8	33	47	29	16	10	10
8月	165	8	8	31	51	30	18	9	10
9月	156	8	8	29	48	28	18	11	6
10月	162	7	6	33	48	30	19	12	7
11月	168	9	6	31	53	29	19	17	4
12月	157	9	6	28	49	30	18	13	4
1月	165	8	6	29	50	32	24	13	4
2月	151	8	5	29	46	29	19	10	5
3月	151	8	5	30	41	34	17	13	6
合計	1891	95	83	372	569	352	219	135	69

給付管理件数総数 1890件 前年度総数 1403件

- ・介護予防 549件（月平均 45.75件） 昨年度月平均 31.41件
- ・要介護 1341件（月平均 111.75件） 昨年度月平均 85.5件

職員の在籍者

管 理 者 主任介護支援専門員	西畑 哲也	令和3年9月1日～
介護支援専門員	佐藤 文枝	平成29年7月1日～
介護支援専門員	小松原 雅代	令和2年10月20日～
介護支援専門員	藤田 亜矢子	令和3年9月1日～(令和4年2月1日～常勤)